

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機関名	高知県立大学	整理番号	M02
プログラム名称	災害看護グローバルリーダー養成プログラム		
プログラム責任者	野嶋 佐由美	プログラム コーディネーター	山田 覚

◇博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価（公表用）

【総括評価】

一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

【コメント】

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、その基礎をなす災害看護の概念が明瞭になってきており、またこれに伴い5大学の連携という理念は徐々に実現しつつあると評価できる。しかし、グローバルリーダーを養成するプログラムに相応しい教育体系の構築に遅れがみられ、特に災害看護学により育む8つの能力の効果的な育成法とその到達度の評価法の確立について、今後一層の努力が求められる。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、本プログラム修了後の進路に不安があるとする学生の割合が平成27年度当初非常に高かったため、キャリアパスの見通しの明確化と開拓が一層求められる。特に、国内外でのインターンシップ制度の充実、海外の連携拠点校への留学を通じたキャリア開発プログラムの設置など、学生の俯瞰力・独創力を高める努力が望まれる。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、国際活動を実践するにあたっての素養（語学力、コミュニケーション能力、リーダーシップ等）の向上をめざしたカリキュラム構成及び環境の整備が求められる。特に、日常的に英語に接する機会の充実や、国際機関へのインターンシップの実施に積極的に取り組むことが望まれる。

優秀な学生の獲得については、学生は、意欲が高いだけでなく、臨床経験年数が豊か（平均8.4年）であり、災害対応経験や海外での臨床経験がある等、エキスパート性を有する優秀な学生が確保されていると判断できる。今後は留学生にとっても能力形成が可能なカリキュラム整備を行い、留学生の募集や支援にも努めることが望まれる。

世界に通用する確かな学位の質保証システムについては、グローバルリーダーを育成するために、国際的業績のある教授を招聘するなどして充実することが期待される。また、学位論文審査については論文の質に関する外部評価の確保が望まれる。

事業の定着・発展については、既に5大学が共同して「共同災害看護学専攻」を設置しており、支援期間中のみの一時的なものではないという強い意志がみられる。5大学連携体制が構築され、大学間の調整も進みつつあると思われるが、今後は、学生への支援内容や専門領域の教員確保等について、5大学で足並みを揃え取り組むことが求められる。